

2024
SUMMER
夏号

まだ知らない香川を
旅する小冊子

TRAVEL KAGAWA

トラベルカガワ

讃岐の郷土芸能祭り

香川県伝統的工芸品の「金糸銀糸装飾刺繍」を手がける観音寺市木之郷町いしかわ太鼓台刺繍工房にて。
立体的できらびやかな刺繍が太鼓台を彩る

©Yusuke Kunikata

かがやくけん、かがわけん。

香川県

travel.my-kagawa.jp



讃岐の祭りと郷土芸能

古くから瀬戸内海は海上交通が盛んで、それゆえに様々な地域と交流を育んできた香川県。

他地域との交流や風土・生活の中で、豊かな伝統文化を生み出してきました。

今なお盛んな獅子舞をはじめ、風土に根ざした雨乞い踊り、農村歌舞伎や勇壮なちょうさ祭など、多様な祭りや伝統芸能を通じて、香川県の魅力に触れてみてください。

小豆島エリア

棚田に灯る幻想的な火手

小豆島 肥土山・中山地区の虫送り



提供 (一社)小豆島観光協会

約300年前から伝わる伝統行事で、半夏生の日に火手という松明を稲にわざしながら、害虫退治と豊作を願って棚田を練り歩きます。「稲虫来るな〜(肥土山)」や「とーもせ、灯せ(中山)」のかけ声とともに夕暮れから夜にかけ、列をなした光がゆらゆらと揺らめきながら動いていく風景はとても神秘的です。

見どころ

中山は棚田の北東に位置する湯船山蓮華寺のあたりから、肥土山は肥土山農村歌舞伎舞台周辺からがベストビューポイントです。※当日は蓮華寺までは通行止めで、シャトルバスでの移動のみとなります。



提供 土庄町商工観光課



見学情報

肥土山

- 日時／7月1日(月) 18:00頃
- 場所／小豆郡土庄町肥土山甲2303
離宮八幡神社(肥土山農村歌舞伎舞台)
- 主催・問い合わせ／土庄町商工観光課
tel.0879-62-7004
- 駐車場／当日指定P有
[アクティブ大鐸(小豆郡土庄町肥土山甲1735番地1)]

※詳細はHPをご確認ください

※当日の天候やその他の状況により時間が前後する場合があります
※田んぼや畦道は私有地につき立ち入り禁止です
※当日の観覧・撮影は所定の場所のみ可、ドローン撮影は不可。
事故防止のため虫送りコースには侵入しないでください



中山

- 日時／7月6日(土) ※小雨決行 18:45(湯船山祈祷)〜20:00頃
- 場所／小豆郡小豆島町中山1487(バス停・春日神社前)
- 主催・問い合わせ／中山千枚田虫送り実行委員会事務局
tel.0879-82-1775(小豆島観光協会)
- 駐車場／当日指定P有[小豆島町農村環境改善センター(イメージセンター)]
※会場までの無料マイクロバス送迎あり ※詳細はHPをご確認ください

中山千枚田と農村歌舞伎舞台を満喫する散策&体験ツアー

- 日時／2024年5〜11月の毎週土・日曜日(3日前までに要予約)
- 料金／8,000円〜(昼食込み) ※詳細は小豆島観光協会公式HPからご確認ください
※このツアーの最小催行人数は2名となります。
2名未満の場合、中止し、ご予約をキャンセルさせていただくことがあります



予約は
こちらから

Pick Up 周辺情報

9月29日(日)[中山]・2025年5月3日(土)[肥土山] 小豆島農村歌舞伎【国指定重要無形民俗文化財】

江戸時代、小豆島では上方から伝わりました。かつては島内各地域で演じられ、30を超える舞台がありましたが、現在でも上演されているのは肥土山・中山のみとなり、今なお島民により伝統が受け継がれています。2地区の舞台は国の重要有形民俗文化財に指定されており、中山の舞台は今年3月に改修工事が完了したばかりです。

肥土山／小豆郡土庄町肥土山甲2303／tel. 0879-62-7013(土庄町生涯学習課)
中山／小豆郡小豆島町中山1487／tel. 0879-82-7015(小豆島町生涯学習課)



中山の舞台

提供 小豆島町教育委員会

1



新食感がやみつきになる生そうめん

島でも珍しい、もちもちプリプリ新食感の生そうめんを味わうことができます。そうめん箸分け体験では、手延べそうめん作りの技と味を体感できます（要予約）。

なかぶ庵／小豆郡小豆島町安田甲1385／
tel.0879-82-3669／10:00～
(L.O 13:30)※要予約／休みは
季節によって変動あり※HP参
照／P12台



2



まぜて楽しむしょうゆアイス

濃厚な醤油の香りが漂う蔵の横では、ここでしか味わえないオリジナルスイーツを楽しめます。他ではなかなか見ることができない天然もろみ蔵も見学可能。

ヤマロク醤油／
小豆郡小豆島町安田甲1607／
tel.0879-82-0666／9:00～
17:00／年中無休／P20台



3



有機オリーブ農家の直売所カフェ

有機栽培オリーブや柑橘を中心としたお菓子や飲み物を楽しめます。一押しはブランデーやメープルシロップで渋抜きしたオリーブの実が入ったクリームチーズサンドやオリーブの実の食べ比べ。

山田オリーブ園／
小豆郡小豆島町西村乙1878-19／
tel.0879-82-5126／10:00～
17:00／月～木定休／P3台



4



日本酒や酒粕を使ったかき氷

小豆島唯一の酒蔵・小豆島酒造に隣接するカフェ。小豆島の季節の果物を日本酒で炊いた日本酒ジャムと酒粕アイスクリームがのったかき氷は、夏季限定の必食スイーツ。

フォレスト酒蔵
MORIKUNIギャラリー／
小豆郡小豆島町馬木甲1010-1
／tel.0879-61-2077／11:00
～17:00／木定休／P20台



5



島の素材を活かしたクラフトビール

柑橘や醤油など島で採れた素材をふんだんに使ったビール。テラスでは、できたての生ビールを味わうことができます。坂手港の近くには屋台も出店。春～秋の土日祝に限り、23時まで営業しています。

まめまめびーる／小豆郡小豆島町坂手甲
769／tel.0879-62-8670／
12:00～17:00 (L.O 16:30)／
火・水定休 (季節によって変動
あり)／P2台



6

旬の食材を使った
ボリューム満点のお弁当

地魚や季節の野菜をふんだんに使用したお弁当を味わうことができます。箱から飛び出すほどのボリューム感を楽しんで。※こまめ弁当は要予約

こまめ食堂／小豆郡小豆島町中山1512-2
／tel.080-2984-9391／
11:00～15:00 (L.O 14:00)／
火・木定休／P200m東、元小学
校グラウンドをご利用ください



7

しまはも
島産など島の食材を堪能できるコース

島民からも愛される老舗日本料理店。島活コースでは島の旬が詰まった料理が味わえます。4月末から11月末ぐらいまでは朝、小豆島でとれた島産を使い、その時々で天ぷらや湯引きなどにして盛り込まれます。

日本料理 島活／小豆郡土庄町甲267／
tel.0879-62-3323／11:00～
14:00 (L.O 13:30)、16:30～
20:30 (L.O 20:00)／火定休、
水不定休／P10台



8



妖怪に会えるかもしれないバー！?

古今東西の妖怪を紹介する妖怪美術館に併設のcafe & bar。「お札カクテル」や「記憶チョコレートショット」、「鬼の指クッキー」など、ユニークなアルコールやスイーツを楽しむことができます。

妖怪bar／小豆郡土庄町甲398／
tel.0879-62-0221／9:00～
21:00 (木のみ～17:00)／水定
休 (祝日の場合は営業)／P1
・5台、第2・20台、第3・3台



T-2109



瀬戸内国際芸術祭作品
制作：三宅之功「はじまりの刻」Photo: Keizo Kioku

時間ごとに輝きが変わるアート作品

瀬戸内海を一望する丘に佇む巨大なたまご型の作品「はじまりの刻」。夕陽を浴びて島とともに生きる命の象徴を表現しています。作品の背後に広がる多島海と刻々と移り変わる夕景は格別です。

はじまりの刻(瀬戸内国際芸術祭作品)／小豆郡土庄町
屋形崎 オリビアン小豆島夕陽ヶ丘ホテル敷地内





ユネスコ無形文化遺産に登録

滝宮の念仏踊、綾子踊

〔国指定重要無形民俗文化財〕

ふりゅうおどり

2022年に風流踊としてユネスコ無形文化遺産に登録された「滝宮の念仏踊」と「綾子踊」。

昔から少雨と干ばつに悩まされてきた讃岐らしく、派手な衣装でお囃子に合わせてうちわであおぎ舞い、踊ります。

滝宮の念仏踊



提供 綾川町教育委員会

讃岐国司・菅原道真への感謝と五穀豊穡、また干ばつときには雨天を願って奉納されます。毎年3組が順に踊りを奉納し、5年目には全11組が集まる「総踊り」が行われます。

見どころ

陣羽織を着た下知役がホラ貝、鉦、太鼓、笛のはやしと「ナムアミドーヤ」の音頭にあわせて日月を描いた大団扇をひらめかせ飛び跳ねるように踊る姿は必見。

綾子踊

2年に一度、8月下旬または9月上旬に加茂神社に奉納されます。弘法大師が佐文村に立ち寄り、綾という女性に踊りを教えたところ、雨が降ったことが起源とされています。



提供 まんのう町教育委員会

見どころ

色鮮やかな振袖を身に着けた男子女装が特徴的。歌われる曲は、近世初期の女歌舞伎の面影を色濃く残すとされています。

見学情報

- 日時／8月25日(日) ※午前／滝宮神社・午後／滝宮天満宮
- 場所／綾歌郡綾川町滝宮1314 滝宮天満宮
- 主催／滝宮念仏踊保存会
- 問い合わせ／綾川町教育委員会 生涯学習課
tel.087-876-1180
- 駐車場／当日指定P有(但し、駐車台数には限りがありますので公共交通機関をご利用ください) ※最新情報はHPをご確認ください



見学情報

- 日時／9月1日(日) 10:00～12:00 佐文加茂神社境内
- 場所／仲多度郡まんのう町佐文523 佐文加茂神社
- 主催／佐文綾子踊保存会
- 問い合わせ／まんのう町教育委員会生涯学習課文化財室(琴南公民館内)
tel.0877-85-2221 (平日のみ)
- 駐車場／なし(公共交通機関をご利用ください)



江戸時代以前から続くといわれる厳粛な大祭

金刀比羅宮例大祭

「こんびらさん」として全国の皆様に親しまれる金刀比羅宮で、もっとも重要な例大祭。宵宮祭、例祭、御神輿渡御が3日間にわたって行われます。特に、10月10日の「お下がり」は、豪華な金色の御神輿や貴重な御神室の数々が1年に1度厳かに降りてくると、参道は更に厳肅な雰囲気となります。10～11日の御旅所周辺は様々な催しや屋台で賑わいます。

見学情報

- 日時／10月9日(水) 16:00(宵宮祭)～11日(金) 21:00(御還幸)
※10日(木) 21:00～23:30「お下がり」(御神輿渡御)
- 場所／仲多度郡琴平町892-1 金刀比羅宮／御旅所(南神苑・神事場)
- 主催・問い合わせ／金刀比羅宮 社務所 tel.0877-75-2121
- 駐車場／琴平町内周辺の有料Pをご利用ください

※最新情報はHPをご確認ください



提供 金刀比羅宮

見どころ

10日21:00～の「御神輿渡御」。山上の御本宮から町内の御旅所まで、約2kmの道のりを、神様を導く子どもの「お頭人さん」を先頭に、総勢約600名の人々が、平安絵巻さながらの衣装で順に進んでまいります。22:40頃「金陵の郷」前を通過、23:30頃に御旅所へ到着。

Pick Up 周辺情報



東谷農村歌舞伎祇園座公演

近世後期、阿波に藍作りを習いに行った若者が奉納したのが始まり。演技・演出から太夫、着付けなどの裏方まで住民らが受け持ち、毎年異なる演目上演されます。小中学生による芝居も必見です。

《11月16日(土) 高松市川東コミュニティセンター／高松市香川町川東上1865-13《2025年4月27日(日)》平尾八幡神社／高松市香川町東谷1550／tel. 090-5146-7460(認定NPO 法人農村歌舞伎祇園座保存会 鎌田)／当日指定P計320台(会場までの無料送迎バス有) ※最新情報はHPをご確認ください



7月～12月》NEW レオマワールド 花火ファンタジア



県内唯一のテーマパークで開催される感動的なナイトショー。大迫力の花火と幻想的なオーロラショーに大興奮！8月31日(土)にはまるがめ婆娑羅花火ファンタジアも。開催日時はHPより。

丸亀市綾歌町栗熊西40-1／tel.050-3499-6428／入園料2,000円(中学生以上)ほか※詳細はHPをご確認ください／P4,000台



西讃エリア



大迫力！勇壮な太鼓台の競演

太鼓台をちょうさと呼びます

さぬき豊浜ちょうさ祭



提供 観音寺市商工観光課

見どころ

中日（12日）に和歌山県で行われる「かきじょう」と最終日（13日）に一宮神社で行われる「かきくらべ」。「かきじょう」は上に乗った指揮者が振り落とされそうになるほど激しく揺れる様子を、大きな歓声が上がります。100人余りの担き手が集まり、大きく差し上げる「かきくらべ」が行われると祭りは最高潮に！

瀬戸内海を中心に広まった太鼓台。香川県では中西讃の沿岸地域に多く見られ、観音寺市豊浜町の太鼓台はひときり迫力があります。

特徴的なのは太鼓台の前後に置かれた「掛布団」。金糸の刺繍など、見る者を圧倒する独特の意匠。五穀豊穡や豊漁を祈願し、最後には担ぎ上げてその勇壮さを競います。

江戸時代の讃岐には「讃岐三白」（塩、砂糖、綿）と呼ばれる特産物があり、現在の観音寺市辺りで綿が盛んに栽培されていました。そのためこのエリアの祭りでは、綿をたくさん使った掛布団が金銀の糸で装飾され、太鼓台をより一層豪華に彩ります。

見学情報

- 日時／10月11日（金）午後 町内巡行～
13日（日）19:00 お入り 豊浜八幡神社
※12日（土）17:30～18:30
ちょうさかきじょう 和歌山県祭典会場
13日（日）15:30～16:30
ちょうさかきくらべ 一宮神社
19:00～21:00 お入り 豊浜八幡神社
- 場所／観音寺市豊浜町姫浜156 一宮神社
和歌山県 493 和歌山県祭典会場
和歌山県 1577-1 豊浜八幡神社
- 主催／さぬき豊浜ちょうさ祭実行委員会事務局
- 問い合わせ／観音寺市経済部商工観光課内
tel.0875-23-3933
- 駐車場／当日指定P有（周辺交通規制有）

※最新情報はHPをご確認ください



COLUMN

豪華絢爛な太鼓台を彩る伝統工芸 「金糸銀糸刺繍」

およそ200のパーツからなり、高さ5m、重さ2～3tにも達する太鼓台。表面に施された金の装飾は、綿を詰めた土台に金糸を手作業でびっしりと縫い付けて作ります。観客から美しく見えるよう、縫目の角度や土台の厚みを綿密に調整し、伝統工芸士の高度な技で、キラキラとしたうごめく模様や立体感を表現しています。



©Yusuke Kunikata

香川県伝統工芸士 石川稔さん

いしかわ太鼓台刺繍工房
観音寺市木之郷町1153-10 /
tel. 090-2782-8895
※工房見学可（要予約）

祭りの熱気を一年中味わえる ちょうさ会館

実物の太鼓台や貴重な座席船（豊漁を願う装飾船）を展示し、祭りの歴史やルーツ、豪華な装飾品の伝統技術について学ぶことができる施設。中央の巨大スクリーンでは祭りの様子を上映。実物の太鼓を叩いたり、重さ2tの太鼓台の担ぎ上げを体験できるコーナーなど、太鼓台のすべてを体感できます。



観音寺市豊浜町姫浜982 / tel. 0875-52-5500 / 9:30～17:00
（最終入館16:30）／月曜定休（祝日の場合営業、翌日休）、年末年始休
／入館料 大学生以上300円ほか ※詳細はHPをご確認ください



Pick Up 周辺情報

8月4日（日）・5日（月）》

2日だけかかる幸せの橋 津嶋神社夏季例大祭

子どもの健康と健やかな成長を祈る神社として信仰を集めてきた津嶋神社。本殿は約250m沖の島の上にあり、普段は通行できませんが、一年で夏季大祭のある2日間のみ橋がかかけられ参拝が可能。この「つしま橋」は別名「しあわせ橋」と呼ばれ、この橋を渡ると幸せが訪れるとされています。この2日間のみJR津島ノ宮駅が開通され、臨時便が停まります。

三豊市三野町大見7463 / tel. 0875-72-5463



提供 三豊市観光交流局

国内最大級の“獅子舞王国” 讃岐の獅子舞

約800組もの獅子組が現存する香川県には、全国屈指の獅子舞文化が根付いています。色や素材、形も様々な獅子頭に、豪華絢爛な油単をまとい、鉦や太鼓のリズムに合わせて自由自在に舞う姿は見る人を魅了します。獅子舞は各地域ごとに伝承されており、姿形だけでなく、曲や舞も全く異なるのが特徴。9月末～11月初旬の秋祭りにて奉納され、香川県に秋の到来を告げる風物詩として大切にされています。

見学情報

- 場所／県内各地
- 問い合わせ／讃岐獅子舞保存会
tel.080-3928-4401

※例年11月初旬には、数十組の獅子組が一堂に会するイベント「獅子舞王国さぬき」を開催

見どころ

讃岐の獅子舞の魅力は、本当に生きているかのような動物らしい表情や動き。目や耳が動いたり、雌雄2頭がじゃれ合ったりと、各獅子組が競うように表現を追求し続けています。



東木熊野神社 東上組の獅子舞

©写真房 茗

香川の獅子舞文化を支える伝統工芸



©Naruhito Tokumaru

香川県伝統工芸士 秋山賢二さん

工房蓮心 善通寺市与北町586-2 / tel. 090-4789-4963

「讃岐獅子頭」

讃岐獅子頭は張り製で軽く、耳や前髪が馬毛でできているのが特徴。金箔を貼ったものや顔全体が白や黒の毛に覆われたもの、目や舌が動くものなど、その姿は実にさまざま。職人は各獅子組からの多種多様な希望を形にしています。

「讃岐のり染」

獅子の胴体部分にあたるカラフルな布・油単。のり染めのくっきりとした輪郭線と色鮮やかな染料のコントラストが美しく、獅子の動きをより美しく演出します。那須与一などの武者絵や唐獅子牡丹など、縁起物が散りばめられた豪華な図案も必見です。



©Yusuke Kunikata

香川県伝統工芸士 大川原誠人さん

大川原染色本舗 高松市築地町9-21 / tel. 087-821-5769 ※工房見学は要相談

アクセスマップ



※価格は全て税込みです ※P表記…大=大型バス、中=中型バス、マ=マイクロバス ※掲載情報は2024年5月末時点の内容です

